

## 令和 6 年度 療育講演会について

1. 開催日時：令和 6 年 9 月 13 日（金） 18：30～20：00
2. 開催場所：八雲町総合福祉施設シルバープラザ ふれあいホール
3. テーマ：気になる子どもの理解と育ち
4. 講師：NPO 法人 障がい児・者地域サポート ふれあい 理事長  
北海道乳幼児療育研究会 会長 佐々木 浩治 氏

佐々木講師ご自身の豊富な経験から「今の子どもたちに感じること」「子どもの理解を深めるために」子どもがとる行動とその理由について、また、保護者の思いについて、具体的にお話くださいました。

5. 参加者：62 名 一般町民・保護者・福祉関係者・保育士・幼稚園教諭・医療従事者等

### アンケート結果（意見・感想を一部ご紹介します）

参加者	意見・感想
福祉関係者	どんどんと出来ることが増えること、問題を克服していくことがゴールだと少し思っている自分がいました。そうではないんだと気づきを得ました。他の職員にも伝えていきたいです。
福祉関係者	「診断名をつけなくても気になる子の対応は変わらない」ということがとても印象的でした。そのような意識が関係機関共通認識であればいいなと思いました。全てにおいて、とてもためになりました。参加してよかったです。
保育所・幼稚園関係者	固定観念に捉われてしまわないように、気を付けていくべきだと思いました。その子らしさをしっかり見つけながら、その子にあった支援をしていくことが大切だと改めて思いました。
保育所・幼稚園関係者	気になる子の特性、様々なタイプをものすごく良くわかるお話で、どんどん引き込まれていった。今の園児の中にも当てはまる部分が多々あり、共感できることがものすごくあり、今後の支援方法もより明確になった。いろんな親、子どもに合わせていくこともなるほどと思えて、とても貴重な、あっという間の時間であった。今後の保育にも十分利用していきたいと思った。ありがとうございました。
保護者	何となくわかっていたことも、具体的に言語化していただき、子どもとの関わり方がこれでよかったんだと思える内容でした。とても心が救われました。